

授業 科目	UC 2D 2 3	2単位	必修	講義	2 学年前期	担当 教員	専任講師 佐藤高博
	発達心理学						

授業の概要

- ① 子どもの発達に関する心理学的な知識や考え方を身につけ、理論的な知識が保育実践とどう結びついているかを学ぶ授業である。
- ② 配布資料等を用いながら、教科書に沿って進めていく。
- ③ 講義が中心であるが、理解を深めるために演習課題を課すことがある。
- ④ 該当箇所の予習や積極的な質問などにより主体的に学ぶ姿勢が望ましい。

到達目標	学習成果Ⅰ			学習成果Ⅱ			学習成果Ⅲ		
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1. 子どもの心身の発達に対する外的及び内的要因の相互作用、発達に関する代表的理論を踏まえ、発達の概念及び教育における発達理解の意義を理解している。		○	○	◎	◎	◎		◎	
2. 乳幼児期から青年期の各時期における運動発達・言語発達・認知発達・社会性の発達について、その具体的な内容を理解している。		○	○	◎	◎	◎		◎	
3. 様々な学習の形態や概念及びその過程を説明する代表的理論の基礎を理解している。		○	○	◎	◎	◎		◎	
4. 主体的学習を支える動機づけ・集団づくり・学習評価の在り方について、発達の特徴と関連付けて理解している。		○	○	◎	◎	◎	○	◎	
5. 子どもの心身の発達を踏まえ、主体的な学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解している。		○	○	◎	◎	◎	○	◎	

凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はVページ参照

	主 題	準備学習	本時の学習内容と到達目標	復 習
1	オリエンテーション 子どもの発達を理解することの意義	シラバスに目を通しておく。 教科書第1章第1節に目を通しておく。	授業の進め方と評価の方法を理解する。 子どもの発達を理解することの意義について理解する。 子どもの発達の見方・考え方について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
2	子どもの発達と環境	教科書第1章第2節、第3節、 第2章第1節に目を通しておく。	子どもの発達に影響を与える要因について理解する。 トランザクショナル・モデルについて理解する。 初期経験の重要性について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
3	発達理論と子ども観・保育観	教科書第2章第2節、第3節 に目を通しておく。	発達心理学の代表的な理論について理解する。 生涯発達と子ども観の移り変わりについて理解する。 発達観・子ども観と保育観の関係について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
4	身体付機能と運動機能の発達	教科書第4章に目を通しておく。	乳幼児の身体的機能の発達について理解する。 乳幼児の運動機能の発達について理解する。 運動能力の発達について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
5	感情と自我の発達	教科書第3章に目を通しておく。	自我の発達について理解する。 感情の発達について理解する。 自己主張と自己抑制について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
6	言語の発達	教科書第6章に目を通しておく。	言葉の発達について理解する。 言葉のもつ機能について理解する。 一時的ことばと二次的ことばについて理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
7	認知の発達	教科書第5章第1節、第2節、 第7章第4節に目を通しておく。	感覚・知覚・認知について理解する。 認知の発達に関する基礎知識や理論について理解する。 知的機能の発達について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
8	社会性の発達	教科書第8章、第5章第3節、 に目を通しておく。	愛着の形成について理解する。 他者理解と心の理論について理解する。 他者とのかかわりについて理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
9	乳幼児期の学びに關する理論 (1) 学習理論・行動理論	教科書第5章第4節に目を通 しておく。	学びにかかわる代表的な理論について理解する。 強化の原理、弱化的原理について理解する。 応用行動分析による学びの支援について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。

10	乳幼児期の学びに関わる理論 (2) 生活と遊びを通じた学びの過程	教科書第9章に目を通しておく。	子どもの生活と学びについて理解する。 子どもの遊びと学びについて理解する。 基本的な生活習慣の獲得と発達援助について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
11	乳幼児期の学びの過程と特性 (1) やる気・意欲と動機づけ	教科書第10章、第5章第4節に目を通しておく。	乳幼児期の学びの過程について理解する。 動機づけについて理解する。 子どものやる気を引き出す学習支援について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
12	乳幼児期の学びの過程と特性 (2) 保育・幼児教育における集団づくり	教科書第10章第2節、第11章第1節、第2節に目を通しておく。	用語と教育が一体的に展開する保育について理解する。 保育者とのかかわりを通じた学びについて理解する。 他児とのかかわりを通じた学びについて理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
13	乳幼児期の学びの過程と特性 (3) 保育・幼児教育における学びと発達の評価	教科書第7章に目を通しておく。	子どもの発達理解の方法について理解する。 保育実践の評価について理解する。 個人差や発達過程に応じた保育について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
14	乳幼児期の学びを支える保育 (1) 思考・記憶の発達と発達援助・学習支援	今までの授業を復習しておく。	記憶のメカニズムについて理解する。 認知の発達と発達援助について理解を深める。	学んだことを自分なりにまとめる。
15	乳幼児期の学びを支える保育 (2) 社会性の発達と発達援助・学習支援	今までの授業を復習しておく。	ソーシャルスキル教育について理解する。 社会性の発達と発達援助について理解を深める。	学んだことを自分なりにまとめる。
成績評価	授業への取り組み・課題の提出 (20%) レポート(宿題)の提出 (30%) 期末試験 (50%) 合計 100%			
教員からのコメント	この授業で学ぶ発達についての知識は、あくまで平均的な発達についてのものです。実際には個人差があるため、ひとりひとりの子どもの発達を個別にとらえていく必要があります。そのことを理解したうえで、学んで欲しいと思います。			
教科書	書名 シリーズ知のゆりかご 保育の心理学 著者 青木紀久代 編 発行所 株式会社みらい	推薦図書	書名 授業の中で随時紹介する。 著者 発行所	